

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教育課程・学習指導	- 新教育課程の実施状況を踏まえ、生徒の個々の能力や適性、進路希望を生かした教育活動の充実を推進する。また、地域の教育力や教育資源を今後活用していく。 - 教育活動におけるDX関連の研修を充実させその活用を促進する。	- 保護者アンケート・評議員の評価から本校の教育活動に一定の評価をいただいていることがうかがえる。 - 本校は、普通科及び職業科による複数学科が設置されている。この特色をさらに生かした教育活動や高大連携等外部機関との連携が望まれる。
改善方策	学習指導要領を適切に実施するとともに、生徒の学びの充実と進路実現に向けた教育課程の見直しを進める。情報部、教務部を軸にICT機器を活用した学習についての研修会実施するなど、その活用を図る。ICT機器を効果的に活用できる校内体制の構築をめざす。	
生徒指導	- 地域の自治体や関係機関と連携しながら、生徒の主体的な活動を充実させるとともに、学業・面談を効果的に実施するとともに、情報や学年、分掌間で横断的に捉えることが必要である。 - いじめ防止に向け、校内の連携を推進する。	- 生徒は、部活動等にも積極的に参加し、心身共に成長している様子が見られる。 - SNSの使用について、保護者とも連携しながら、危険性について十分に認識させるよう継続した指導が必要である。 - 今後もしばしばに関する指導も継続的に行っていくことが大切である。
改善方策	日常的な観察や面談から得られた情報を教職員全体で共有する。共通した生徒理解のもと、予防的な指導体制を充実を図る。自他を尊重する指導を進め、外部人材を活用しながら生徒が安心・安全に学校生活を送ることができるよう生徒指導・教育相談を推進する。	
進路指導	- 生徒が主体的な進路選択能力を身につけるための情報提供やその機会を確保を進める。 - インターンシップなどの充実に向け、対象者の拡大を検討。事後指導を充実させ、活動内容の充実を図る。	- 難関大学への合格は現役生徒の励みになる。 - 今年度の卒業生には系統的な指導が進路決定状況に大きな成果をあげている。 - 複数回の説明会を実施するなど、進路指導が実施されている。 - 多様な進路希望を実現するための課外講習体制を充実させる必要がある。
改善方策	3年間を見通した指導計画に基づくことで、生徒が主体的に自己の将来について考える姿勢を育成する。職業人による講話や専門学校、大学等の外部と積極的に連携を図り、学年に応じた指導の充実に努める。	
健康安全	- 感染症対策や夏季の高温対策を継続実施した。 - 生活環境や交友関係等、教育的サポートが必要となる生徒が増加している。SCやSSWとの連携や情報共有が重要である。検・改訂を継続的に実施することが必要である。	- 感染症対策、夏季の高温対策は、継続する必要がある。 - 教育相談体制のより一層の充実が大切である。 - 教育相談の連携体制充実のため、外部人材の活用を積極的に活用する。
改善方策	感染症に対する生徒の意識啓発、天候に応じた夏季の高温対策を継続する。各種事業を活用しながら、SCやSSWの外部人材を積極的に活用するとともに、関係機関との連携を密にし、教育相談体制を充実させる。	
その他	- 学校活動をHP等を活用して積極的に発信することが重要である。 - 安全な学校生活を送るための環境整備が必要である。 - 職業学科の魅力発信を発信し、より理解を深めてもらえるよう、効果的な策が必要である。	- 地域で生徒の活躍する機会や日常の学校生活について、取組みを積極的に外部へ発信すべきである。 - メール配信サービスやHP等を活用し、自然災害等の際にタイムリーな情報提供を行う。 - 定時制課程の継続的な振興、支援も重要である。
改善方策	各行事や地域での取組みをもとに、今後もHPや報道機関を活用した発信を積極的に行う。また、学校紹介のパンフレットや学校説明会の内容を工夫し、各学科の魅力を中学生や地域へ発信する。地域の教育力を活用した授業実践や各行事への保護者の参加を促し、開かれた学校づくりに努める。	
公表方法	PTA役員会及び総会等で保護者に配布するとともに、HPで公表する。	

3 添付資料

- 令和6年度(2024年度)自己評価結果(教職員)(全日制・定時制)
- 令和6年度(2024年度)学校関係者評価集計結果(保護者)(全日制・定時制)
- 令和6年度(2024年度)学校関係者評価集計結果(学校評議員)